

科目名	発達心理学1			ナンバリング	PSY322	授業形態	講義
対象学年	1年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	名取洋典	担当教員					

授業の概要	本講義では、人間の受精から死に至るまでの生涯における心身の発達過程について、生涯発達心理学的な視点から概観することを目的とする。発達心理学とは何か、どのようにして研究するのか、それはどのようにして発展してきたかについて説明したのち、各研究分野ではどのようなことが明らかになってきたか等について説明する。主として胎児期から児童期までの、(1)認知機能の発達および感情・社会性の発達、(2)自己と他者の関係の在り方と心理的発達について学ぶ。定型発達の説明に加えて、非定型発達についての基礎的な知識および考え方についても説明する。						
到達目標	1 生涯発達心理学という視点なぜ誕生したのかについて説明できる 2 発達心理学の研究方法について説明できる 3 胎児期から児童期の発達について説明できる						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	何事にも関心を持ち、授業の中で扱われた内容を、日常生活の中で確かめてみようとするのが大切です。実際の子供の様子などを観察してみましょう。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1 生涯発達心理学という視点なぜ誕生したのかについて理解することができる 2 発達心理学の研究方法について理解することができる 3 胎児期から児童期の発達についての概要を理解することができる	1 生涯発達心理学という視点なぜ誕生したのかについて自分の言葉で適切に説明することができる 2 発達心理学の研究方法について自分の言葉で適切に説明できる 3 胎児期から児童期の発達について、自分の言葉を用いて適切に説明できるとともに、身近な事象との関連について考察を広げることができる

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
課題の提出状況			○	○			20%
授業での小レポートの内容	○	○	○	○	○		40%
学期末試験の成績	○	○					40%

課題、評価のフィードバック	1 manab@IMUの小テストで授業内で出される課題については、回答のいくつかを選択し、次回の授業内でコメントする 2 manab@IMUの小テストで出題された問題についてはmana@IMU上でも採点結果および回答を開示する 3 期末テストについては、期間終了後、manab@IMU上で解答および採点基準を開示する
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	発達とは何か	発達とは何か、発達心理学とは何か、また生涯発達という視点がいづ、どのようにして誕生したかについて説明する。	
	第2回	発達研究の方法	発達心理学を研究するための方法論(縦断研究・横断研究・時代差研究)について説明する。	
	第3回	遺伝と環境1	発達を規定する要因としての遺伝と環境の影響について、双生児研究法の結果に基づいて説明する。	
	第4回	遺伝と環境2	発達を規定する要因としての遺伝と環境の影響に加えて、両者の相互作用について説明する。	
	第5回	胎児期1	受精・着床・胎芽・胎児期の母子の生理的変化について、説明する。	
	第6回	胎児期2	養育を中心とした、乳児と周囲の大人との対人関係について説明する。	
	第7回	乳児期1	乳児の生理的、認知的な特徴について説明する。	
	第8回	乳児期2	養育を中心とした、乳児と周囲の大人との対人関係について説明する。	
	第9回	幼児期1	幼児の生理的特徴について説明する。	
	第10回	幼児期2	幼児の認知的特徴について説明する。	
	第11回	幼児期3	幼稚園や保育所といった、同年代の子どもとの幼児の対人関係について説明する。	
	第12回	幼児期4	幼児と周囲と大人との関係が、幼児の心理面におよぼす影響について説明する。	
	第13回	児童期1	児童の生理的、身体的特徴、変化について説明する。	
	第14回	児童期2	小学校生活の中での対人関係と児童の心理面での変化について説明する。	
	第15回	児童期3	小学校での対人関係や学業上の困難さを抱える児童について理解し、説明する。	
		試験	定期試験を実施する。	
授業の進め方	プレゼンテーションソフトを用いた講義を行う。授業内では毎回manab@IMUの小テストを用いた課題を課す。			
授業外学習の指示	配付資料を精読し理解した上で授業に臨むこと、また、学んだ内容を整理し、ノートにまとめること。 (授業外学習時間: 毎週 180 分)			

教科書	使用しない。必要に応じて適宜資料を配付する。
参考書	適宜、紹介する。
参考URLなど	
その他	manab@IMUを利用して授業内小課題を出題します。回答することが可能な準備をして授業に臨んでください。